



Tama Art University
アートアーカイヴの思想

Art Archives Symposium 4

12:4 Sat.

第4回
多摩美術大学アートアーカイヴシンポジウム
オンライン開催

【主催】多摩美術大学アートアーカイヴセンター
【協力】多摩美術大学メディアネットワーク推進委員会



無料(事前登録制)
登録・詳細はこちらがち



Institute for Art and Topology, Tama Art University

【使用画像】「和田誠展」(東京オペラシティアートギャラリー/2021年10月9日-12月19日) 演出: 和田誠、多摩美術大学アートアーカイヴセンター

第4回目の多摩美術大学アートアーカイブシンポジウムは、アーカイブという膨大な資料体の「思想」を探ります。第1部では、当センターの今年度の活動を象徴するプロジェクトを取り上げ、その成果を報告します。第2部では、多義的、脱中心的にアーカイブの生の声を聞き取ろうとしたミシェル・フーコーをテーマに、その専門家をお迎えして、アーカイブの思想を深めます。さらに第3部では、アーカイブの辺境、そして異端のネットワークに光を当てながら、アーカイブの「別の」意味や可能性を拓けます。今回のシンポジウムの記録は、日英バイリンガルで公開される予定です。

久保田 晃弘 (アートアーカイブセンター所長)



ミシェル・フーコー『知の考古学』初版
(Michel Foucault, L'Archéologie du savoir, Paris, Gallimard, 1969)



大野美代子研究展「ミラからキロまで」/2021年6月21日-7月7日
多摩美術大学アートテークギャラリー/撮影:安田萌音



「我楽他宗」展/2021年2月25日-3月6日/藤野滋コレクション
多摩美術大学アートテークギャラリー/撮影:須田行紀

開催概要

【開催日時】

2021年12月4日(土)

10:00-17:00

【オンライン開催】

無料(事前登録制)

登録・詳細はこちらから

https://aac.tamabi.ac.jp/information_symposium2021.html



【主催】

多摩美術大学アートアーカイブセンター

【協力】

多摩美術大学メディアネットワーク
推進委員会

【お問合せ】

多摩美術大学

アートアーカイブセンター事務室

Mail: aac@tamabi.ac.jp

Twitter: @tamabi_aac

プログラム

全体進行: 安藤 礼二(多摩美術大学)

● オープニング

10:00-10:10

青柳正規(多摩美術大学理事長)

● 第1部「AACショーケース2021」

10:15-12:15

- ・「タマリDNA展の企画開催と関係資料の活用」木下京子(多摩美術大学)
- ・「和田誠アーカイブの現状について」高橋庸平(多摩美術大学)
- ・「大野美代子研究展とデザインのアーカイブ」湯澤幸子(多摩美術大学)
- ・「瀧口修造文庫——OPAC登録完了と今後の活用」光田由里(多摩美術大学)
- ・「現状報告:三上晴子アーカイブ」久保田晃弘(多摩美術大学)

司会: 久保田晃弘

● 第2部「ミシェル・フーコーとアーカイブ」

14:00-15:15

- ・「〈普遍的アーカイブの時代〉とフーコー・アーカイブ」石田英敬(東京大学)
- ・「アーカイブの生政治——不死のテクノロジー」田中純(東京大学)[事前収録]

コメンテーター:

加治屋健司(東京大学)+安藤礼二

司会: 安藤礼二

● 第3部「アーカイブのネットワーク 熊楠・大拙・我楽他宗」

15:30-16:45

- ・「南方熊楠のアーカイブをどのように外部と接続するのか?」松居竜五(龍谷大学)
- ・「国際ネットワークとしての我楽他宗——トランスナショナル・アーカイブ研究」ヘレナ・チャブコヴァー(立命館大学)
- ・「東西を往還する大拙とピアトリスの活動」守屋友江(南山大学)

司会: 安藤礼二

● クロージング

16:45-17:00

建畠哲(多摩美術大学学長)

